科目名	コンサートプロダクト２							年度	2024
英語科目名	Concert Product 2							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサート照明コース　1年次	必／選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	田城佳子	教員の実務経験		無	実務経験の職種				

【科目の目的】

コンサートやイベントにおける照明の役割や実際の仕込・オペレーションなどの基礎について理解できるようにします。

【科目の概要】

＜コンサート照明コース＞
簡単な機材セッティング・灯体の取り扱いなど、基礎技術を習得します。

【到達目標】

・安全に対する心構えとして、コミュニケーションの必要性を理解する。
・各種灯体の効果・特徴を理解し、電気回路の基礎を身につける。
・調光卓の機能、舞台照明の規格の一つであるDMX512規格概要を理解する。
・舞台照明は一人で出来る作業ではない為、実習を通じて、他人とのコミュニケーションを身につける。

【授業の注意点】

失敗する事が問題ではなく、分からない事をそのままにしておく事が問題の為、自ら積極的に授業に参加しコミュニケーションも重視する。厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。(遅刻・欠席の場合、授業開始15分前までに必ず教員室に連絡を入れる事。)ただし、授業時数の４分の３以上出席しない者は評価しない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	LED PAR について理解し、設定・安全な仕込・オペレーションができる。		LED PAR について理解し、基本的な設定・仕込ができる。		LED PAR について、仕組みが理解できていない。
到達目標 B					
到達目標 C	ミーティングを踏まえ、必要な要素を落とし込みライブに向けた準備をできる。		必要な項目をまとめ、他セクションなどとミーティングを行うことができる。		ミーティングに向けて、どのような準備が必要か理解できていない。
到達目標 D					
到達目標 E	ライブ実習において、コース全体をまとめ、本番を運営することができる。		ライブ実習において、自分の担当セクションについて理解し、運営できる。		ライブ実習において、自分がやりことについて理解できていない。

【教科書】

舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞(日本照明家協会出版)、現場で役立つ舞台関係用語集ステージ・PA・照明用語事典(リットー

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

＊試験は授業内容の理解度を確認するために実施する。＊宿題や見学のレポートなどを真剣に取り組んでいるか、提出状況によ

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	コンサートプロダクト２	年度	2024
英語表記	Concert Product 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	照明仕込み復習 LED PAR仕込み	前期の復習 LED PARの仕込み方理解	1 2 3	前期の復習 LED PARの仕込み方 理解	LED PARの配線の仕方、DMXチャンネル数の理解 卓での制御の仕方を理解する	2	
2	仕込み練習 LED PAR仕込	一般照明仕込み LED PAR仕込み練習	1 2 3	一般照明仕込み LED PAR 仕込 卓での操作	少しづつ照明機材の台数を増やし、回路取り が複雑になって行きます。同じ照明チーム内で コミュニケーションを取りながら、仕込みを終える、 コミュニケーションの必要性を理解する	2	
3	仕込み練習 LED PAR仕込	一般照明仕込み LED PAR仕込み練習	1 2 3	一般照明仕込み LED PAR 仕込 卓での操作	少しづつ照明機材の台数を増やし、回路取り が複雑になって行きます。同じ照明チーム内で コミュニケーションを取りながら、仕込みを終える、 コミュニケーションの必要性を理解する	2	
4	仕込み練習 LED PAR仕込	一般照明仕込み LED PAR仕込み練習	1 2 3	一般照明仕込み LED PAR 仕込 卓での操作	少しづつ照明機材の台数を増やし、回路取り が複雑になって行きます。同じ照明チーム内で コミュニケーションを取りながら、仕込みを終える、 コミュニケーションの必要性を理解する	2	
5	12月Live本番 に向けて①	12月ライブ実習 仕込みシュミレーション	1 2 3	ライブ実習仕込み 曲の聞き込み Qシートの作成	12月ライブ実習の仕込み(全員にて) 曲を聴いてQシート作成(キッカケ出し) 担当部署に分かれて作業をする。協調性の理解	2	
6	12月Live本番 に向けて②	プロダクション MTG	1 2 3	ライブ実習仕込み データー打ち込み プロ三	ライブ実習のデーター打ち込み プロダクションMTGにて、出演者に曲の確認等 質問を伝える。コミュニケーション・協調性の 大事さを理解する	2	
7	12月Live本番 に向けて③	全体仕込み 練習	1 2 3	他コースとの連携 他コースの仕事を 知る	事前にテクニカルMTGにて、仕込段取りを考える 当日その通りに仕込みを行うが、何か問題があれば、 テクニカルMTGにて検証、問題解決して行く。	2	
8	12月Live 本番１	他コースとの協調性 コミュニケーション	1 2 3	スタッフ同士の 協調性・コミュニ ケーション・時間の管 理	本番は、照明コースだけで行っているわけでは 無いので、他コースとの会話、タイムテーブル に沿って作業を行う、時間管理の必要性を理解	2	
9	12月Live 本番２	他コースとの協調性 コミュニケーション	1 2 3	スタッフ同士の 協調性・コミュニ ケーション・時間の管 理	本番は、照明コースだけで行っているわけでは 無いので、他コースとの会話、タイムテーブル に沿って作業を行う、時間管理の必要性を理解	2	
10	修了Live に向けて①	希望担当決め 照明プラン作成 仕込み図作成	1 2 3	仕込み練習 各チーム毎準備	希望部署を決め、仕込み後は各チーム毎に練習 プランチームは、プラン作成をする。セット (道具)がある場合は、道具チームとも打合せ、 協調性・コミュケーションの必要性を理解	2	
11	修了Live に向けて②	プロダクション MTG	1 2 3	ライブ実習仕込み データー打ち込み プロ三	ライブ実習のデーター打ち込み プロダクションMTGにて、出演者に曲の確認等 質問を伝える。コミュニケーション・協調性の 大事さを理解する	2	
12	修了Live に向けて③	チーフMTG	1 2 3	ライブ実習仕込み データー打ち込み チーフMTG	各コースチーフが集まり、仕込みの手順・段取 りを決める。1つしかないホールを、各テクニ カルで使うので、お互い何を優先するか話し 合いながら、決めていく。協調性が必要。	2	
13	修了Live に向けて④	全体仕込み練習	1 2 3	全テクニカル実習 タイムテーブル通り 打合せ通り、仕込ん でみる	チーフMTGで決めた、仕込み段取り通り出来るか 検証する。問題があればその都度話し合い変更し、 新たな段取りが決まる。 協調性とコミュニケーション力が必要。	2	
14	修了Live 本番１	本番１	1 2 3	本番実習 安全に仕込み・本番 撤収作業まで終える	今まで行ってきた実習の集大成です。技術だけでは無 く、見に来てくれたお客さん、出演者を気遣い ながら、全スタッフ協力し、1つのライブを成功させる	2	
15	修了Live 本番２	本番２	1 2 3	本番実習 安全に仕込み・本番 撤収作業まで終える	今まで行ってきた実習の集大成です。技術だけでは無 く、見に来てくれたお客さん、出演者を気遣い ながら、全スタッフ協力し、1つのライブを成功させる	2	

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等